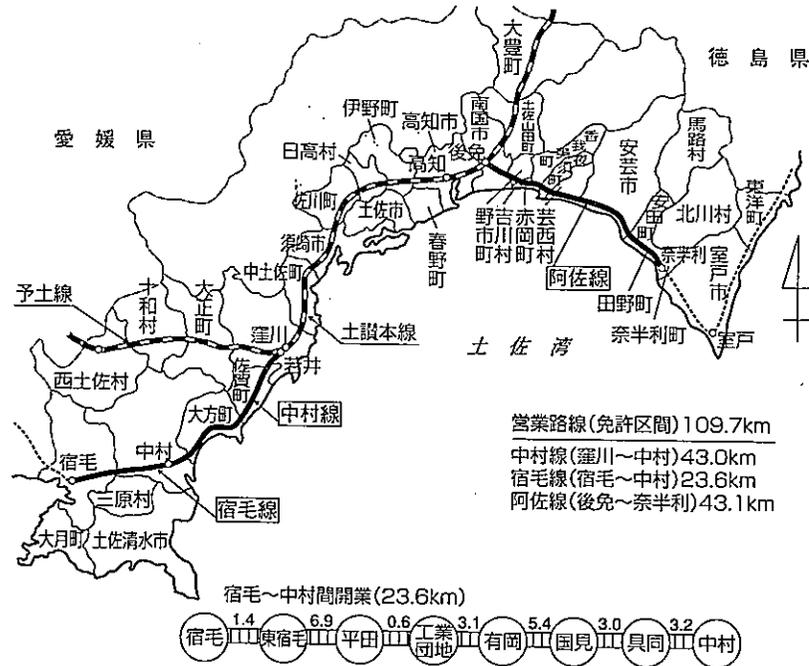


三 土佐くろしお鉄道

陸の孤島といわれた幡多地域住民の悲願であった鉄道は、大正一一年四月に宇和島と中村間が敷設予定路線となつて以来、幾多の変遷を経て、平成九年一〇月一日、宿毛線の開業によって実現したのである。



中村・宿毛線主要駅間普通旅客運賃表

窪川									
390	荷 稻								
530	240	土佐佐賀							
750	460	240	土佐上川口						
850	530	390	200	土佐入野					
1,060	750	610	390	240	中 村				
1,290	1,060	850	680	530	320	有 岡			
1,420	1,060	950	750	610	460	200	平 田		
1,550	1,290	1,170	950	850	610	320	240	宿 毛	

特急料金
25キロまで300円 50キロまで400円
51キロ以上600円

グリーン料金(均一) 800円

指定席料金(均一) 200円

実に七五年を要したことになる。この間、日中戦争や太平洋戦争による着工の遅れ、昭和四八年のオイルショックに続き、昭和五六年の国鉄再建法の施行に伴う工事の中止などのため開通が遅れたのであった。

中村線・宿毛線の歩み

大正一一年 四月 宇和島・中村間が鉄道敷設法による敷設予定線となる。

昭和三七年 三月 宇和島・中村間調査線となる。

昭和三九年 六月 宇和島・中村間工事線に昇格。

昭和四五年一〇月 国鉄中村線窪川〜中村間(四三キロ)開業。

昭和四七年一〇月 中村〜宿毛間工事計画許可。

昭和四九年 二月 中村〜宿毛間(二三・六キロ)工事着手。

昭和五六年一〇月 国鉄再建法の施行に伴い工事が中断される。

昭和六一年 五月 国鉄は、中村線を赤字ローカル

線と定め、廃止路線となる。

県及び関係市町村は鉄道として残し、土佐くろしお鉄道(株)による運行引継ぎを決定した。

昭和六一年一〇月 運輸大臣が宿毛線を国鉄再建法の規定に基づく告示を行う。

昭和六二年 二月 土佐くろしお鉄道(株)に地方鉄道業の免許。

昭和六二年 三月 宿毛線工事再着手。

昭和六三年 四月 中村線窪川〜中村間を土佐くろしお鉄道(株)営業開始。

平成 九年一〇月 宿毛線営業開始。

平成 九年一〇月一日に「土佐くろしお鉄道宿毛線」が開通して地域住民の夢の実現であった。

宿毛〜高知間は、二時間以内で、岡山までは四時間二〇分で結ばれ、幡多地域の発展に大きな効果が期待されている。

三原村は、平田駅が最寄駅で、中村〜宿毛間で唯一

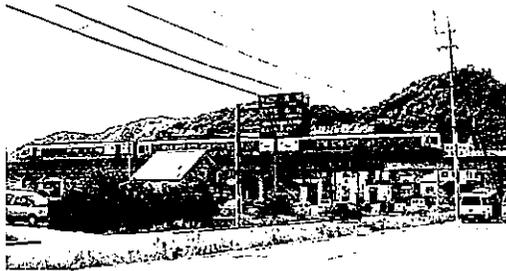
の特急列車の停車する駅である。

この駅を中心に高知県交通から分社した高知西南交通バスが発着し、三原バスは列車連絡と幡多けんみん病院を経由して地域住民の唯一の公共交通機関としてその役割を果たしている。

また土佐くろしお鉄道のごめんなはり線は、ローカル線最後の鉄道として平成一四年七月一日開通した。



土佐くろしお鉄道 平田駅



宿毛に向かう特急列車

土佐くろしお鉄道平田駅列車時刻表
(上り) (下り)

時	刻	列車と行先	時	刻	列車と始発駅		
午前	6:01	特急 岡山	午前	7:09	普通 中村		
	6:56	普通 中村		7:48	普通 窪川		
	7:36	普通 窪川		8:28	普通 窪川		
	8:15	普通 中村		9:46	普通 窪川		
	9:01	特急 岡山		10:07	特急 高知		
	9:32	普通 窪川		10:57	普通 中村		
	10:48	特急 岡山		11:49	特急 高松		
	11:19	普通 窪川		12:32	普通 中村		
	午後	12:19		普通 中村	午後	13:41	特急 高知
		12:57		特急 岡山		14:24	普通 窪川
14:10		普通 中村	15:43	普通 中村			
14:44		特急 高知	16:54	普通 窪川			
16:10		普通 窪川	17:25	特急 高知			
17:14		普通 中村	18:06	普通 窪川			
17:56		特急 高松	18:42	普通 中村			
18:29		普通 中村	19:57	普通 窪川			
19:10		普通 窪川	20:35	特急 岡山			
19:45		普通 中村	21:46	普通 窪川			
20:53	普通 窪川	23:24					
22:13	普通 中村						